

第9号

市小公連だより

筑紫野市小地区公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市小公連事務局

■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3

■発行責任者 会長 森田 陽子

生涯学習センター内 ☎092-918-3535



【役員のことば】

筑紫駅前通
公民館長



事務局長
金丸 正憲

市小公連の活動に対し、日頃からご支援・ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。昨年五月の定期総会での決議事項をふまえ、推進大会の運営見直し・改善や研修会・学習会の充実など、関係者の皆様方のご協力を頂き取り組むことができました。また、各種の公民館大会や地区別視察研修会への参加を通じて相互交流を深めるとともに、各小地区公民館の素晴らしい取り組みや共通の課題等について学ぶことができました。当地区でも少子高齢化は着実に進んでいます。そのような状況の中で、公民館の果たすべき役割はさらに重要性を増していると思います。小公連活動を通じて学んだことを地域に少しでも反映し、「まちづくりの拠点」である公民館の更なる活性化に向けて、地域のより多くの皆様が「集い・学び・絆をつなげる」よう、できることから取り組んでいきたいと考えています。

市小公連の活動報告

美しが丘北公民館



「子どもスイーツ教室」～誰にでも簡単にできるチョコレート菓子を作ってみませんか～子ども向けのお菓子作り(参加者)8名

(成果)①子ども達が楽しくお菓子作りができた。②日頃、家ではできなかった事ができた様で、良い経験になった。(課題・工夫)作るだけでなく、準備から後片付けまで、子ども達に責任を持ってさせる。

公民館主催講座

小地区公民館で毎年新しく開設される講座の内、公民館が主催する講座や地域の団体、住民の学習支援を公民館が行う場合を対象として講師謝金(一定限度内)を補助しています。是非、ご活用ください。対象となる講座の内容…次の例を基本とします。

- ①社会的課題や地域課題、生活課題などを地域で考える講座(例えば)：人権学習、環境学習、高齢者学習、福祉問題、防犯防災振興等
- ②趣味、教養など市民の学習推進につながる講座(例えば)：ストレッチ体操、生け花、陶芸、習字、そば打ち、門松づくり等
- ③その他、小地区公民館の学習活動推進につながる講座

今年度は35の公民館主催講座が実施されましたが、そのうちの3講座を紹介します。

大石公民館



「地産地消による手作りの蒟蒻教室」

①地元で採れた蒟蒻玉使用

②正月料理に郷土料理を復活

(参加者)10名

(成果)正月前に体験して、正月料理ができてよかった。

(課題・工夫)製造方法は、蒟蒻の凝固剤として炭酸ソーダ水を用いたが、方法が他にもあるようなので、食感を重視した製造方法を今後、研究したい。

湯町公民館



「杉山家三代の歴史」とそれに関わる時代考証や生き方についての解説(参加者)34名(成果)①筑紫野市に縁のある山家、原田等を知ることができた。②身近に江戸末期、明治、大正、昭和、平成と杉山家の歴史と三代の生き方等を知ることができ、大変良かった。(課題)参加者をさらに増やすために、チラシやロコミ以外にも、広報活動を実施する必要がある。

市小公連地区別視察研修会

全体講評



社会教育主事 渡辺 智史

今回初めて市小公連地区別視察研修会に参加させていただきましたが、どの地域もそれぞれの特色を生かした公民館活動を実施されており、公民館や地域への思い・期待というものを直接お聴きすることができ、その街の元気の良さ、地域に対する愛情の深さを感じました。普段何気なく活動していることでも、地域の中に埋もれている良さを見出し、それをみんなで共有することで、地域への愛情や誇りが育まれます。昨今の都市化・核家族化の中で薄れてきた相互扶助やコミュニケーションなどといった大切なものを再認識し、人と人がつながり、人と地域がつながる工夫や努力が公民館活動を通じて展開されています。今後ともこの研修会の成果を是非生かし、地域や公民館が益々発展・充実することを期待しています。

山家地区全公民館

平成28年1月16日(土) 山家地区公民館 (山家コミセンにて)

「地域で女性の活躍を」 寸劇「私でよければ…」 講師ちくしのフォーラム 代表 松尾 昌世さん



筑紫地区 筑紫公民館

平成28年1月23日(土) 筑紫公民館にて開催されました。

研修会テーマ 「筑紫公民館の新たな翔き」 発表内容 ○自治会活動の夏祭り、西鉄駅舎等と襲撃の慰霊祭、敬老会、運動会等の状況 ○新公民館建設の準備、設計、工事・完成迄の経過 ○公民館の各サークル利用状況



山口地区石崎公民館

平成28年2月6日(土) 石崎公民館活動紹介

「公民館改築をめざして」 (山口コミセンにて) 井上館長の独特な話し方に惹かれて楽しい研修会でした。いきいきサロン紹介・夏祭り・敬老会・市民体育祭・子ども会バスハイク・新年明けての餅つき大会等々、それぞれの行事催しごとに石崎地区ならではの知恵が色々感じられました。又、資源ゴミの回収を増やすためにご苦労されました。各写真の中に子ども達も大勢参加していました。子供が参画することで、幼児若者、高齢者まで参画する公民館、コミュニティ作りの取り組みがよく伝わりました。また、福祉は高齢者の見守りが行き届いています。実践的な地域コミュニティに取り組んだ発表会でした。



二日市地区 宮田町公民館

平成28年2月13日(土) 宮田公民館にて開催されました。

「宮田公民館・町内会活動について」をテーマに活動報告がありました。公民館の取り組みは、「明るい公民館」「子ども達が参画・利用する公民館」「福祉の充実を目指す公民館」を目指して活動されています。公民館・町内会事業の各部会、子ども会・老人会・防災部等の活動と夏祭り・敬老会・餅つき大会等の事業の活動を写真付でプレゼンがありました。各写真の中に子ども達も大勢参加していました。子供が参画することで、幼児若者、高齢者まで参画する公民館、コミュニティ作りの取り組みがよく伝わりました。また、福祉は高齢者の見守りが行き届いています。実践的な地域コミュニティに取り組んだ発表会でした。



御笠地区 本道寺公民館

平成28年2月21日(日) 研修会テーマ「高齢化社会をむかえた本道寺地区における公民館の活性化」

発表内容：公民館は、築38年がたち老朽化が進んでいて、平成2年をピークに人口が減少してない等の現状がありますが、公民館活動を活性化するために、「いきいきサロン」・「バレーストレッチ」・「宝満の里本道寺」の立ち上げを行いました。若者が、生まれ育った本道寺で生活したいと思えるような環境をつくること、現在活動している団体の参加者を増やすこと等の課題があげられました。



平成26年12月末の新公民館建設経過と完成後の活動状況・利用状況を報告、資料の不足等から十分な理解を得て頂いたか心配をしていますが、

平成26年12月末の新公民館建設経過と完成後の活動状況・利用状況を報告、資料の不足等から十分な理解を得て頂いたか心配をしていますが、

平成26年12月末の新公民館建設経過と完成後の活動状況・利用状況を報告、資料の不足等から十分な理解を得て頂いたか心配をしていますが、

平成26年12月末の新公民館建設経過と完成後の活動状況・利用状況を報告、資料の不足等から十分な理解を得て頂いたか心配をしていますが、

平成26年12月末の新公民館建設経過と完成後の活動状況・利用状況を報告、資料の不足等から十分な理解を得て頂いたか心配をしていますが、

福岡県公民館実践交流会

四会場において公民館の実践活動について発表がなされ

ました。第一会場では、当市小公連の森田会長が湯町公民館長として「人にやさしいまちづくり〜赤ちゃんからお年寄りまで」と題して発表されましたので、その概要についてご紹介致します。

湯町は、筑紫野市の南西に位置する現在の二日市温泉のことで、古くは「万葉集」や「梁塵秘抄」にも歌われ温泉観光地として栄えたところです。現在は、交通の利便性等から福岡のベッドタウンとして人口が増加しており、世帯数約1,700、人口約500人、高齢化率約26%で、少子高齢化や住民ニーズの多様化等に対応するために取り組まれている活動は次のとおりです。

■おぎやー訪問…お祝い品・育児情報等を届け絆を深める。 ■ちびっ子サロン…月2回、育児交流を実施。

■湯遊クラブ…75歳以上の一人暮らしの方を対象に仲間づくりや健康増進を目的に月1回開催。 手作り昼食会、バスハイク等。 ■公民館主催講座 土曜クラブ

…青少年の居場所づくりのため地域の大人が講師となり気軽に立ち寄り学べる講座開設。卓球、生け花、マクラメ教室、工作クラブ等。

■公民館部会活動…全員参加の子ども会活動として歓迎会、公民館お泊まり会、夏祭り、もちつき大会、七夕会、敬老会参加等実施。その他老人会、女性部、湯町クラブ(成人部)等があり、「赤ちゃん・児童・女性・成人・高齢者が公民館で異世代の交流を行い、人にやさしい安全安心なまちづくりをみんなで推進」されています。特に、全国的に少子高齢化が進展している中、「おぎやー訪問」や「ちびっ子サロン」、とりわけ、次世代を担う「全員子ども会」のあり方については大変感銘を受けました。本市でも子ども会が減少傾向にあり、将来的に不安を感じていましたが、今回展望が開けた感が致します。

菅 勉(美しが丘南館長)



：飯塚文化会館(コスモスコモン)
2月10日・全参加者約1,000名
筑紫野市から17名参加

筑紫南文化祭

平成27年12月17日～18日

：筑紫南コミュニティセンターにて

～約4,000人参加～

筑紫南コミュニティ運営協議会と筑紫南コミュニティセンター利用団体との共催により、筑紫南文化祭が行われました。筑紫地区小地区公民館連絡協議会も後援すると共に、筑紫地区区長会と合同でソフトクリーム販売やスーパーボールすくいでも盛り上がりました。

筑紫南コミュニティセンター内では、作品展示やステージ発表が行われ、屋外では、多くの模擬店で食べ物や物品販売などで賑わいました。最終日は、餅まきをして皆さんに喜んでいただきました。両日で約4,000人の方々のご来場いただき成功に終わりました。

今年は、地域の方も多く参加され、なかでも原田小学校の時代行列は素晴らしい発表で、保護者も含め、会場が満杯になりました。この文化祭を通して筑紫南地区の絆、交流が深まり、「住みやすい 住んでよかった 住み続けたい スマイルタウン 筑紫南」に一層近づきたいと考えています。今年の実践を生かし、来年ももっと良いものにしていきたいと思っています。 久原 寛(筑紫南コミセン館長)



筑紫地区・美しが丘南公民館

《美しが丘南公民館の概要》 森 政之(美しが丘南公民館主事)

美しが丘南公民館は、当初美しが丘南1丁目にありました。建物が手狭で駐車場も狭く近隣との騒音問題があり、平成23年3月に、美しが丘南3丁目に新築して約5年になります。

■建物：150坪の平屋・JR原田駅より2km・西鉄津古駅より2kmの小郡市に隣接する位置にあります。現在約1700世帯(約5000人が居住)筑紫野市では2番目の人口を抱える公民館です。

運営7名：館長(自治会長)・副会長・書記・会計・主事・事務職2名

■公民館(自治会)事業：「サマーフェスティバル」「市民体育祭」「敬老会」「文化祭」「ふれあいサロン」「子育てサロン」

【公民館主催行事】：「健康教室」「救命講習会」「星を観る会」「男の料理教室」「クリスマスリース作り」「陶芸教室」「ミニ昼作り」「ガラスアート作り」「バレンタインのお菓子作り」など。

【サークル・教室】：「卓球クラブ」「健康太極拳同好会」「ヨガ教室」「絵画教室」「生け花池坊」「書道教室」「フラダンス」「バレエ教室」「フラワーアレンジメント」「手編み教室」「そろばん教室」「大正琴」「英会話教室」「数学教室」など、大人16教室、子供14教室があり、教室の空き時間がない様な状況です。美しが丘南全住民の皆様方が各種行事やサークル等、生涯学習・地域の絆づくりの拠点として、赤ちゃんからお年寄りまで気軽に誰でもが利用でき、人にやさしい安全・安心のまちづくりを目指し、活動しています。



『ステキな夏休み教室』 御笠地区・牛島公民館

平成26年2月に新公民館が完成したことで、公民館活動が盛んになり、毎週月曜日から土曜休館日まで利用予定は一杯です。その一環として「ステキな夏休み教室 in 牛島」を紹介します。小学生が、自分達の住む地域の良さを体験し、地域の人たちとの交流を深めることをめざして、料理、学習、色々な体験の4日間を、中学生を含めたボランティアと一緒に過ごしました。

実施後、①家でのお手伝いをするようになった②異学年のお友達と交流するようになった③朝、学校に遅刻しないように時間を気にして行動するようになったなどの保護者の声を頂きました。今後も続けることに致します。 梅津 國興(牛島公民館長)

編集後記

今更ながら「公民館とは」何なのかと自問自答しています。

公設公民館と自治公民館の相違も、新たに活動する地域コミニティー協議会等の役割分割もどのよう色分けして対処すればいいのか？ 公民館は、生涯学習の推進のために、住民の身近な学習・交流の場として、生活文化の振興を図り、明るく住みよい文化的な郷土を建設していくとされているが、それぞれの団体が独自の動きをすると目に見えないものになる。

一度立ち止まり、公民館のあるべき姿とは何なのかも、考える必要があるのではないかと思います。

三宅 俊明

(常松館長)

